

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	設定日(2014年2月10日)から2018年1月29日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・北欧ハイイールド債券マザーファンド2014-02(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、主として北欧市場で発行もしくは取引されるハイイールド債券等、または北欧の企業が発行するハイイールド債券等に実質的に投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。 ・マザーファンドの運用にあたっては、Alfred Berg Kapitalforvaltning AS(アルフレッド・バーグ)に、運用の指図に関する権限を委託します。 ・マザーファンドへの投資を通じて実質的に投資する外貨建資産に対して、原則として対円で為替ヘッジを行います。
主要運用対象	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
組入制限	<ol style="list-style-type: none"> ①マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 ②株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として次の通り収益分配を行う方針です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子等収益のいずれか多い額とします。 ②収益分配額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、信託財産の状況によっては分配を行わないこともあります。 ③留保益(収益分配に充てず投資信託財産に留保した収益)については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

償還 運用報告書(全体版) 第9作成期

第16期(償還日 2018年1月29日)

愛称 ホイレンテ 北欧ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) 2014-02

単位型投信／海外／債券

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。北欧ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)2014-02(愛称 ホイレンテ)は、2018年1月29日をもちまして償還いたしました。ここに、謹んで運用状況と償還金をご報告申し上げます。当ファンドをご愛顧賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ窓口

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

電話番号：0120-996-222

受付時間：毎営業日 午前10時～午後5時

<http://www.bnpparibas-am.jp/>

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社
 東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウノースター

北欧ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)2014-02(愛称 ホイレンテ)

■設定以来の運用実績

作成期		(分配落)	基準価額			受益者 利回り	株式 組入比率	債券 組入比率	元本 残存率
			税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率				
第1作成期	(設定日) 2014年2月10日	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
	1期(2014年 6月20日)	10,063	150	213	2.1	5.9	—	94.3	100.0
第2作成期	2期(2014年 9月22日)	10,019	10	△ 34	△0.3	2.9	—	96.9	98.2
	3期(2014年12月22日)	9,131	10	△ 878	△8.8	△ 8.1	—	93.7	91.8
第3作成期	4期(2015年 3月20日)	8,503	10	△ 618	△6.8	△11.9	—	92.2	65.5
	5期(2015年 6月22日)	8,404	10	△ 89	△1.0	△10.3	—	90.1	54.5
第4作成期	6期(2015年 9月24日)	7,675	10	△ 719	△8.6	△13.1	—	87.5	41.4
	7期(2015年12月21日)	7,430	10	△ 235	△3.1	△12.7	—	91.7	35.7
第5作成期	8期(2016年 3月22日)	6,991	10	△ 429	△5.8	△13.2	—	91.0	30.1
	9期(2016年 6月20日)	6,847	10	△ 134	△1.9	△12.4	—	72.0	25.6
第6作成期	10期(2016年 9月20日)	6,976	10	139	2.0	△10.7	—	84.3	20.5
	11期(2016年12月20日)	7,012	10	46	0.7	△ 9.6	—	84.6	18.8
第7作成期	12期(2017年 3月21日)	7,252	10	250	3.6	△ 8.0	—	86.7	17.9
	13期(2017年 6月20日)	7,294	10	52	0.7	△ 7.3	1.4	76.3	17.3
第8作成期	14期(2017年 9月20日)	7,271	10	△ 13	△0.2	△ 6.8	1.0	89.3	17.2
	15期(2017年12月20日)	7,220	10	△ 41	△0.6	△ 6.5	—	—	15.5
第9作成期	(償還時) 16期(2018年 1月29日)	(償還価額) 7,200.22		△19.78	△0.3	△ 6.3	—	—	15.4

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「債券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はございません。

■当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		株式 組入比率	債券 組入比率
			騰落率		
第16期	(期首) 2017年12月20日	円 7,220	% —	% —	% —
	12月末	7,212	△0.1	—	—
	(償還時) 2018年 1月29日	(償還価額) 7,200.22	△0.3	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「債券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はございません。

■運用経過

(注) 当ファンドにおいて、北欧とは、ノルウェー、スウェーデン、デンマークおよびフィンランドの国々を指します。



(注) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

1. 基準価額の主な変動要因

当ファンドは設定以来、「北欧ハイイールド債券マザーファンド2014-02」(以下「マザーファンド」といいます。)を高位に組み入れる運用を行ったため、当ファンドの基準価額は北欧ハイイールド債券市場の影響を受けました。実質的に組み入れる外貨建資産に対しては、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行ったため、為替市場による影響は限定的でした。

なお、当期は償還を控えて安定的な運用を行い、作成期中の騰落率は0.3%の下落となりました。

信託期間中の基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

上昇要因

保有銘柄の利息収入を享受したことなどがプラスに寄与しました。

下落要因

保有する北欧ハイイールド債券の価格が下落したことなどがマイナスに影響しました。

2. 投資環境について(設定日(2014年2月10日)から償還日(2018年1月29日)まで)

設定当初、北欧ハイイールド債券市場は落ち着いた値動きのなかで始まりました。しかし、2014年の春先に始まったロシアとウクライナによる紛争が長期化の様相を呈し、地政学的リスクが高まったことなどから北欧ハイイールド債券市場は下落に転じました。加えて、原油価格の下落や低調な欧州経済見通しなどを背景に、下落幅を拡大しました。

その後、原油価格が上昇に転じたことで北欧ハイイールド債券市場も一旦は反発しましたが、中国の景気減速懸念に端を発した世界同時株安による投資家のリスク回避姿勢の高まりが北欧ハイイールド債券市場にも及びました。また、原油が再び下落基調に転じたことでノルウェー経済に与える悪影響なども懸念されました。

2016年に入ると、ノルウェー中央銀行が利下げに踏み切るなど各中央銀行が相次いで政策措置を打ち出した

ことに加え、原油価格が回復したことが好感され、北欧ハイイールド債券市場は下げ止まり、上昇に転じました。2016年後半から2017年にかけては英国でのBrexit(欧州連合離脱)の決定や米国でのトランプ大統領の誕生、スペイン・カタルーニャ州の独立問題の発生など、欧米での政治リスクの高まりが意識されるようになりましたが、北欧ハイイールド債券市場への影響は限定的でした。

また、2017年にはOPEC(石油輸出国機構)加盟国が減産で合意したことや、スウェーデンの中央銀行が市場予想に反して量的緩和の延長を決定したことなどが好感されました。原油価格は上昇基調が続き、投資家センチメント(市場心理)は改善しました。

3. ポートフォリオについて(設定日(2014年2月10日)から償還日(2018年1月29日)まで)

信託期間を通して、主要投資対象であるマザーファンドを高位に組み入れました。

マザーファンドにおいては、2014年2月10日の設定以降、北欧ハイイールド社債を中心にポートフォリオの運用に努めてまいりました。

原油価格が下落基調にあった局面では石油・オフショア関連銘柄の売却を進めるなどして、ポートフォリオのエネルギー・セクターへの配分比率を引き下げました。一方で、リスクの低減を図ることを目的とし、多様な業種、銘柄への分散投資を行いました。

当期は、既に当ファンドの償還準備に入っていたため、銘柄の保有はありませんでした。

4. 分配金について

信託期間中、運用実績や市場動向等を勘案し、合計で1万口当たり290円(税引前)の分配を行いました。なお、分配金に充てなかった留保益については、元本と同一の運用を行いました。

5. 償還について

当ファンドは、2018年1月29日に繰上償還いたしました。当ファンドをご愛顧賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

北欧ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)2014-02(愛称 ホイレンテ)

■1万口当たりの費用明細

項 目	第16期		項 目 の 概 要
	(2017/12/21~2018/1/29)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.172	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は7,212円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0.089)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(6)	(0.077)	交付運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.006)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.010	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均 受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び 資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印 刷)	(1)	(0.009)	運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用
合 計	13	0.182	

(注1) 作成期間において発生した費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況 (2017年12月21日から2018年1月29日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 16 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
北欧ハイイールド債券マザーファンド2014-02	千口 —	千円 —	千口 124,859	千円 92,938

(注) 単位未満は切り捨て。

北欧ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)2014-02(愛称 ホイレンテ)

■利害関係人との取引状況等 (2017年12月21日から2018年1月29日まで)

当作成期中に利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入れ資産の明細 (2018年1月29日現在)

償還日現在、親投資信託の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	前作成期末
	口 数
北欧ハイイールド債券マザーファンド2014-02	千口 124,859

(注) 単位未満は切り捨て。

■投資信託財産の構成

2018年1月29日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	93,014	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	93,014	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

北欧ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)2014-02(愛称 ホイレンテ)

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2018年1月29日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	93,014,392円
コール・ローン等	93,014,392
(B) 負 債	168,249
未払信託報酬	159,608
未払利息	242
その他未払費用	8,399
(C) 純資産総額(A - B)	92,846,143
元 本	128,949,000
償還差損金	△ 36,102,857
(D) 受益権総口数	128,949,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	7,200円22銭

- (注1) 設定年月日 2014年2月10日
 設定元本額 835,697,049円
 期首元本額 130,149,000円
 元本残存率 15.4%
 1口当たり純資産額 0.7200円
- (注2) 純資産総額が元本を下回っており、その差額は36,102,857円です。

■損益の状況

第16期 自2017年12月21日 至2018年1月29日

項 目	第 16 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 319円
支 払 利 息	△ 319
(B) 有価証券売買損益	△ 94,498
売 買 益	26,657,533
売 買 損	△26,752,031
(C) 信 託 報 酬 等	△ 168,935
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 263,752
(E) 前期繰越損益金	△36,176,825
(F) 解約差損益金	337,720
償還差損金(D + E + F)	△36,102,857

- (注1) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 当作成期(2017年12月21日～2018年1月29日)における、信託財産の運用指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用は23,496円です。(当社計算値)

北欧ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)2014-02(愛称 ホイレンテ)

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年2月10日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年1月29日		資産総額	93,014,392円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	168,249円
受益権口数	835,697,049口	128,949,000口	△706,748,049口	純資産総額	92,846,143円
				受益権口数	128,949,000口
元本額	835,697,049円	128,949,000円	△706,748,049円	1万口当たり償還金	7,200.22円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	835,697,049円	840,973,580円	10,063円	150円	1.5000%
第2期	820,697,049	822,270,293	10,019	10	0.1000
第3期	767,497,049	700,804,012	9,131	10	0.1000
第4期	548,058,000	465,987,547	8,503	10	0.1000
第5期	456,008,000	383,241,140	8,404	10	0.1000
第6期	345,988,000	265,531,432	7,675	10	0.1000
第7期	299,148,000	222,275,404	7,430	10	0.1000
第8期	252,178,000	176,297,198	6,991	10	0.1000
第9期	214,099,000	146,599,209	6,847	10	0.1000
第10期	172,099,000	120,059,124	6,976	10	0.1000
第11期	157,749,000	110,620,774	7,012	10	0.1000
第12期	149,649,000	108,532,301	7,252	10	0.1000
第13期	145,149,000	105,870,912	7,294	10	0.1000
第14期	144,149,000	104,811,744	7,271	10	0.1000
第15期	130,149,000	93,972,175	7,220	10	0.1000
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				△2,509.78円	△6.3220%

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金 7,200円22銭(税引前)

北欧ハイイールド債券マザーファンド2014-02

運用報告書

償還

<第5期>

償還日 2018年1月26日

(計算期間 2017年12月21日～2018年1月26日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	<ul style="list-style-type: none">・投資時に格付がBB+格相当以下、もしくは運用指図権の委託先によりそれと同等の格付とみなされる北欧の社債等に主として投資を行います。・社債等の組入比率を高位に保ちます。・ファンドにおいては組入銘柄の十分な分散を図ります。・信託財産に属する資産の効率的な運用ならびに価格変動リスクを回避するため、デリバティブ取引を行うことがあります。・資金動向、信託財産の規模、市場動向、北欧諸国の政治や経済情勢の変動、当該諸国の法規制等の変更、その他の要因等によっては、上記のような運用ができない場合があります。・ Alfred Berg Kapitalforvaltning ASに運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	主として、北欧市場で発行もしくは取引されるハイイールド債券等、または北欧の企業が発行するハイイールド債券等を投資対象とします。
組入制限	<ol style="list-style-type: none">①株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以下とします。②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。③有価証券の空売りは行いません。ただしデリバティブ取引により同等の効果を持つ取引を行うことがあります。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		株 式 組入比率	債 券 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率			
(設 定 日) 2014年2月10日	円 10,000	% —	% —	% —	百万円 2,618
1期(2014年12月22日)	9,854	△ 1.5	—	97.6	2,118
2期(2015年12月21日)	7,429	△24.6	—	95.4	620
3期(2016年12月20日)	6,980	△ 6.0	—	87.6	385
4期(2017年12月20日)	7,451	6.7	—	—	292
(償 還 時) 5期(2018年 1月26日)	(償還価額) 7,443.42	△ 0.1	—	—	286

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はございません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組入比率	債 券 組入比率
		騰落率		
(期 首) 2017年12月20日	円 7,451	% —	% —	% —
12月末	7,445	△0.1	—	—
(償 還 時) 2018年 1月26日	(償還価額) 7,443.42	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はございません。

■運用経過

(注) 当ファンドにおいて、北欧とは、ノルウェー、スウェーデン、デンマークおよびフィンランドの国々を指します。



(注) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

1. 基準価額の主な変動要因

当ファンドの償還日(2018年1月26日)の償還価額は7,443円42銭となり、信託期間を通じての騰落率は25.6%の下落となりました。当ファンドは主に北欧のハイイールド債券に投資したため、当ファンドの基準価額は北欧ハイイールド債券市場および為替市場の影響を受けました。

なお、当期は償還を控えて安定的な運用を行い、期中の騰落率は0.1%の下落となりました。

信託期間中の基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

上昇要因

保有銘柄の利息収入を享受したことなどがプラスに寄与しました。

下落要因

北欧ハイイールド債券の価格が下落したことや、円に対してノルウェークローネやスウェーデンクローナといった北欧通貨が下落したことがマイナスに影響しました。

2. 投資環境について

2～3頁の「北欧ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)2014-02 2. 投資環境について」をご参照ください。

3. ポートフォリオについて(設定日(2014年2月10日)から償還日(2018年1月26日)まで)

設定以降、北欧ハイイールド社債を中心にポートフォリオの運用に努めてまいりました。

原油価格が下落基調にあった局面では石油・オフショア関連銘柄の売却を進めるなどして、ポートフォリオのエネルギー・セクターへの配分比率を引き下げました。一方で、リスクの低減を図ることを目的とし、多様な業種・銘柄への分散投資を行いました。

前期末に償還に向けた売却を行ったため、当期においては銘柄の保有はありませんでした。

■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2017/12/21～2018/1/26)		
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2 (2)	% 0.021 (0.021)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	2	0.021	

(注1) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は7,445円です。

■売買及び取引の状況 (2017年12月21日から2018年1月26日まで)

当期は該当ありません。

■利害関係人との取引状況等 (2017年12月21日から2018年1月26日まで)

当期中に利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入れ資産の明細 (2018年1月26日現在)

償還日現在、有価証券の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年1月26日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	286,959	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	286,959	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2018年1月26日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	286,959,152円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	286,959,152
(B) 負 債	2,239
未 払 利 息	2,239
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	286,956,913
元 本	385,517,801
償 還 差 損 金	△ 98,560,888
(D) 受 益 権 総 口 数	385,517,801口
1万口当たり償還価額 (C/D)	7,443円42銭

(注1) 期首元本額 393,170,126円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 7,652,325円
 1口当たり純資産額 0.7443円
 (注2) 純資産総額が元本を下回っており、その差額は98,560,888円です。

(注3) 元本の内訳

北歐ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) 2014-02 260,926,588円
 北歐ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) 2014-02 124,591,213円

■損益の状況

当期 自2017年12月21日 至2018年1月26日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 28,566円
支 払 利 息	△ 28,566
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 207,347
売 買 損	△ 207,347
(C) そ の 他 費 用 等	△ 60,040
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 295,953
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△100,217,260
(F) 解 約 差 損 益 金	1,952,325
償 還 差 損 金 (D + E + F)	△ 98,560,888

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。